



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第13巻第7号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第13巻第7号). 泌尿器科紀要 1967, 13(7): 574-574

ISSUE DATE:

1967-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/113165>

RIGHT:

編 集 後 記

第14回国際泌尿器科学会総会がミュンヘンで開催されるのを機会に筆者は7月1日羽田を発し、コペンハーゲン、ハンブルグ、ベルリンを経て学会に出席した。清涼たる南独古都のふんいきの裡で世界各国（ただしソビエツト、東独は不参加）よりの参加会員はイザール河畔の Deutsches Museum の堂をうめつくした。学会の主なるテーマは腎移植と腎性高血圧で、アメリカ学派の一頭地を抜く成績に対し、西独、仏、英、スペイン、イタリー等欧洲学派の懸命に追随せんとする姿がみられたがこれは正に西欧文化の躍進を物語るものといえよう。日本よりも多数の学者が参加し、各々多年にわたる業績を発表して次期開催国としての実力を示した。

概して国際学会総会の使命は医学の進歩は勿論のことであるが、世界の学者が一堂に会して現在の微妙な国際状況を越えお互いに学問を通じて親睦を計ることこそ望ましいことであるが、開催国の西独は会長 May 教授の他 Alken 教授等多数の方々の心からなるもてなしをされよくその本質を発揮されたことは喜びに耐えない。なお筆者は学会の終りより渡英して人工腎の使用状況を視察し7月19日帰洛した。学会の詳細はいずれ他の方々より報告があるからここでは省略する。

本月号は御覧のごとく盛り沢山の論文を掲載し、随想には平沢先生より玉稿を頂戴し巻頭をかざらせて戴いた。盛夏の折皆様の御健闘を祈りつつ擲筆する。

購 読 要 項

1. 発行は毎月（年12回）とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する。1冊料金 150円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投 稿 内 規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用難字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。1) 中野：泌尿紀要、1：110、昭和30。2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳す法。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。

泌尿器科紀要 第13巻 第7号

定価150円

昭和42年7月25日 印刷

昭和42年7月31日 発行

顧 問 稲 田 務

編集発行人 加 藤 篤 二

発 行 所 泌尿器科紀要編集部

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部泌尿器科学教室

電 話 ㊦ 8111 学 内 5806

印 刷 所 山代印刷株式会社

京都市上京区寺之内通小川西入